

消費と生活

Consumer



Magazine

令和5年9月1日発行（奇数月1日発行）通巻373号 創刊昭和41年10月1日

2023

9・10

No.373

消費者として流通の2024年問題を考える
SIMスワップの詐欺被害に遭わないと
がかかる必要か
効力はほとんどないチケット不正転売禁止法

商品特集

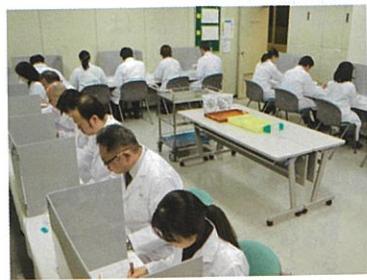
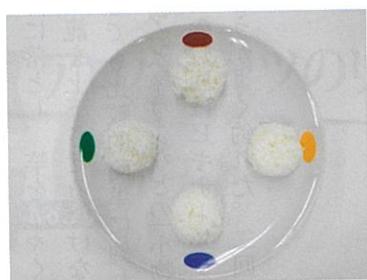
ほぼ完全栄養食品のたまごおいしくパワーをいただこう
誰もが使って簡単便利で楽しいガスコンロ



ホテルが崖の中にある巨大複合施設「WINDY FARM ATMOSPHERE」（出雲市）

米の食味試験受付中

<お米の美味しさを評価します>



一般財団法人日本穀物検定協会

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町15-6 製粉会館

TEL 03-3668-0911 FAX 03-3668-0058

URL <https://www.kokken.or.jp> E-mail info-hed@kokken.or.jp



詳しくは
HP又はQR
コードよ
りご確認
ください。

エネルギーを選ぶということは
家族とその生活を守ること

知ってる!?

災害に強い

LPガス

災害がおこったとき
復旧が早く安心なエネルギーが
LPガスなんです

災害時に威力を發揮するLPGガス

ガスコンロやガス給湯器にガスを供給するLPGガス（プロパン）はなじみの深いものだが、そのLPGガスは、実は、災害時にとても役立つものだという。電気や都市ガスでは地震や台風により、供給がストップするような場合もあるが、プロパンは軒先に在庫（ボンベ）があるので、行政からも「エネルギー供給の最後の砦」と位置づけられている。また、災害時に避難所になる学校の体育館などの空調として使われるLPGガスのGHPエアコンも注目されている。



学校：屋上に設置されたGHP&室外機

出所：広島ガスプロパン30年史

日本LPGガス団体協議会HPより

九月一日は防災の日だが、これは百年前に起きた「関東大震災」が由来だとされている。これまで百年のうちに、震度七以上の大地震が阪神淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震と五回も起きており、震度六強まで加えると、十五回の大地震に見舞われている。台風や水害に至っては、毎年

のようどこかで多大な被害を被っている。昨今は温暖化で台風の進路も変化し、日本中でいつ災害に巻き込まれてもおかしくない状態。災害に見舞われて避難所生

活を余儀なくされる人の映像がニュースから流れてくるが、学校の体育館に寝泊まりする人にとってはエアコンのない熱帯夜が続く真夏や冬の寒い時期は本当に辛そう。学校の体育館などの空調設置率はわずか一一・九%（二〇二二年九月現在）しかないというのが現実。

クリーンで省エネなGHP

そこで注目されているのが、GHPエアコンだ。GHP（ガスヒートポンプ）エアコンとは、ガスを

燃料として高効率のガスエンジンを使って冷暖房を行う空調システムである。

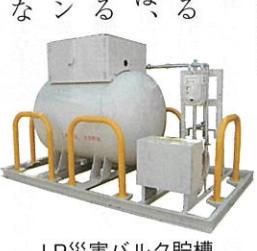
「電源自立型GHPなら停電時でもガスによって空調や照明、携帯電話の充電など電力が使える」と。消費電力は、GHPなら冷暖房の電気使用量は一〇分の一、発電機能付きGHPなら一〇〇分の一と少ないので基本料金の高い大容量使用の契約が不要なこと。暖房時は、ガスエンジンの排熱を有効利用するので、GHPの暖房時は、立ち上がりが早く、パワフルなど様々な利点がある。また、プロパンは品質劣化せず長期保存に最適のエネルギー」と日本LPGガス団体協議会事務局は語る。

LPGガスは、通常見かけるLPGガスボンベだけではなく、大きな施設向けの「LPG災害バルク貯槽」もある。学校の体育館などの空調設置率はわずか一一・九%（二〇二二年九月現在）しかないというのが現実。

直近の台風六号による沖縄での停電（約二十二万戸、全世帯の約三五%）で多くの住民が空調なしでの生活を強いられた。いま、少しずつ学校の体育館のGHPエアコン設置が進んでいるのだが、周辺の地域の住民の空調設備を欲求する声に応えているのだという。

「被災していつまでこの困難な生活が続くのだろうと落ち込んでいた時にさわやかな風が吹いてきた。それがLPGガスのエアコンと知らされた時は驚いたが、あまりにも心地よく、また、生きようという気力が湧いてきた」…。LPGガスは、災害の時にも命をつなぐ「ライフライン」となってくれるだろう。

ここ数年、温暖化による気候変動で今年も三五℃を超える猛暑が続いた。野球の甲子園など屋外の日中の試合の中止を呼び掛ける人も少なくなかつたが、危険なのは屋根付きの屋内の活動者にも熱中症が多発していることだ。体育館などの空調設置は、万が一の避難所の備えとして、また、日常的な生徒の安全性を考える時になくてはならないものになっていくのだろう。



LPG災害バルク貯槽

補助事業の対象となつてある。ここ数年、温暖化による気候変

り、GHPエアコンとともに国のLPGガスは、災害の時にも命をくれるだろう。